

SNAPTAIN 

SP500

4軸GPSドローン

取扱説明書

飛行する前に取扱説明書をよく読み、将来の使用のために大切に保管してください。

14⁺
FOR AGES

ディレクトリ

免責事項と安全ガイド.....	01
メンテナンス.....	03
製品概要.....	04
飛行準備.....	06
飛行操作ガイド.....	09
送信機操作ガイド.....	10
Mode 2の場合	10
ドローンと送信機のペアリング	10
フライトキャリブレーション.....	10
1.コンパスキャリブレーション.....	10
2.ジャイロキャリブレーション.....	11
GPS衛星の検索.....	12
飛行指示.....	13
離陸.....	13
飛行方向.....	15
リターンホーム(RTH).....	16
スマートRTH.....	16
フェールセーフRTH.....	18
低電リターンRTH.....	18
写真/ビデオ.....	20
ヘッドレスモード.....	20
スピードスイッチ.....	21

高度維持.....	21
着陸.....	22
緊急停止.....	22
Mode 1の場合	23
ドローンと送信機のペアリング.....	23
フライトキャリブレーション.....	23
GPS衛星の検索.....	25
飛行指示.....	26
APP操作ガイド.....	36
APPのダウンロードとインストール.....	36
APPを起動.....	36
アプリの機能概要.....	38
設定.....	40
離陸.....	41
目標点のサークルフライ(POI).....	41
フォロミー.....	43
ウェイポイント.....	44
写真/ビデオ.....	45
プリロードされた音楽で動画を録画.....	45
着陸.....	45
スマートRTH.....	45
LED指示灯の説明.....	46
トラブルシューティング.....	47
仕様.....	50

》 免責事項と安全ガイド

ご使用前に免責事項をよくお読みください。本製品を使用することにより、お客様は本文をよく読み、同意したものとみなされます。

1. 飛行前には、類似のドローンを使用して練習するか、専門家の指導を仰いでください。
2. 障害物、人混み、開放水域、公道、高圧送電線、樹木の上や近くを飛行しないでください。



3. 雨や強風(風速5.5m/s以上)、雪、ひょう、落雷、竜巻、ハリケーンなどの悪天候時には、ドローンを使用しないでください。



4. 電磁妨害区域、電波妨害区域、政府が定めた飛行禁止区域ではドローンを飛行させないでください。



5. 急速に回転するモーターやプロペラは、重大な損傷や怪我を引き起こす可能性があります。ドローンを操作する際には、5mの安全な距離を保つようにしてください。責任を持って操作してください。



← 5M →



6. 電源を入れた後は、常にドローンを視界の範囲内に入れておいてください。カメラの画像を頼りにドローンを操作してはいけません。



免責事項と安全ガイド

7. 本製品は玩具ではありませんので、14歳未満の方にはお勧めできません。



8. 本製品は専門家の空撮には適していません。



9. 窒息の危険を避けるために、すべての部品を子供の手の届かないところに保管してください。



10. 注意事項：ドローンやバッテリーの廃棄は、地域の法規制に従ってください。家庭ごみとして扱わないでください。



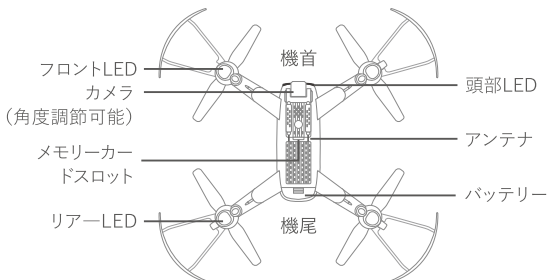
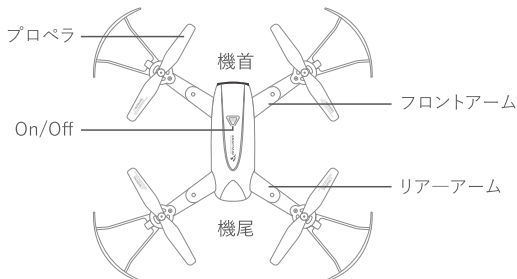
11. すべての現地規制の遵守を確保し、適切な認可を取得し、リスクを理解してください。すべてのフライト規定に従うことは、お客様の全責任となりますのでご注意ください。

SNAPTAINは、本製品の使用により直接または間接的に生じるいかなる損害、傷害、責任についても一切の責任を負いません。SNAPTAINは、本ユーザーマニュアルを更新する権利を有します。

》メンテナンス

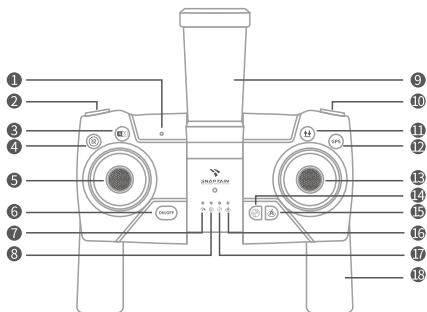
1. 落下や激しい衝撃を受けた後は、ドローンを慎重に点検しましょう。
2. 火気(着火源)の近くでバッテリーを使用したり、保管したりしないでください。
3. バッテリーの温度が高いときは、充電しないで先に冷やしてください。
4. ベッド、カーペット、木製の床、導電性の表面などの可燃性物質のそばでは充電しないでください。充電中はバッテリーを放置しないでください。
5. 付属のオリジナル充電ケーブルのみを使用してください。バッテリーが完全に充電されたら、充電器のプラグを抜いてください。
6. ドローンを長時間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
7. ドローンや送信機は、直射日光の当たらない、涼しく乾燥した場所に保管してください。
8. 電子機器に湿気が入らないように、乾いた布でドローンを清掃することを確認します。
9. 自分で分解や修理をしないでください。詳しくはSNAPTAINまでお問い合わせください。
10. バッテリーは弊社が用意しているオリジナルのものをご使用ください。間違ったタイプのバッテリーを使用すると、火災の危険性があります。
11. 爆発の原因となりますので、電池を火やストーブの中に放り込んだり、切断したり、機械で圧迫したりしないでください。
12. 爆発を起こしたり、可燃性の液体やガスが漏れたりする恐れがありますので、バッテリーを高温にさらさないでください。
13. 爆発の原因となったり、可燃性の液体やガスが漏れることがありますので、バッテリーを極端に低い空気圧にさらさないでください。

SP500ドローン



製品概要

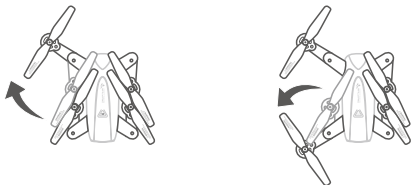
送信機



- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 電源指示灯 | 10 写真/ビデオ(長押し) |
| 2 スピード・スイッチ | 11 ワンキー離陸/着陸、
緊急停止(長押し) |
| 3 コンパスキャリブレーション
(長押し) | 12 GPSモード On/Off |
| 4 ジャイロキャリブレーション
(長押し) | 13 右手スロットル |
| 5 左手スロットル | 14 ヘッドレスモード |
| 6 On/Off | 15 スマートRTH |
| 7 スピード指示灯 | 16 スマートRTH指示灯 |
| 8 写真/ビデオ指示灯 | 17 ヘッドレスモード指示灯 |
| 9 携帯電話ホルダー | 18 送信機ハンドル |

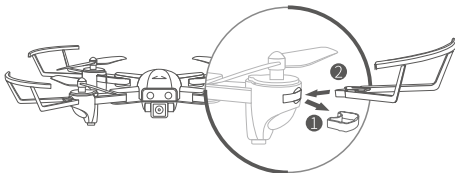


1. まずフロントアームを広げ、次にリアアームを広げる。

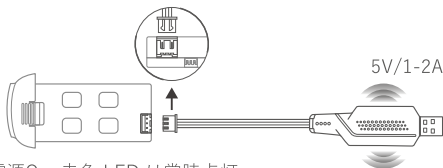


2. ドローンにプロペラガードを取り付けます。

- ① モーターシェルのプラスチック製のチップを外します。
- ② プロペラガードをモーターシェルに取り付けます。



3. バッテリーの充電。



電源On: 赤色 LED は常時点灯

充電中: 赤色 LED は常時点灯、緑色 LED は点滅

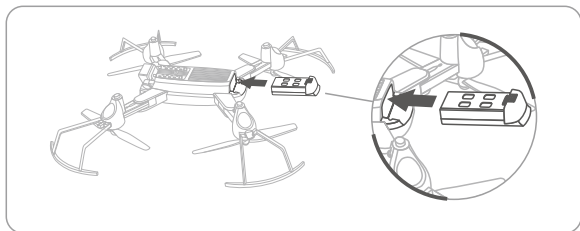
充電完了(フル充電): 赤色 LED と緑色 LED は常時点灯

▶▶ 飛行準備

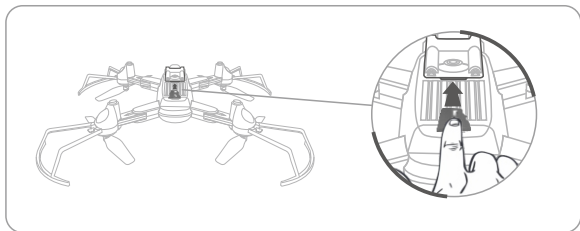
! ご注意:

- * バッテリーとUSBケーブルは、弊社が用意したオリジナルのものをご使用ください。
- * 爆発や火災を避けるために、バッテリーを貫通する可能性のある鋭利なものから遠ざけてください。
- * パソコンのUSBポートを使用しての充電はお勧めしません。
- * 低温環境下では飛行時間が短縮される場合があります。
- * バッテリーの寿命を延ばすために、長期間使用しない場合は少なくとも3か月ごとに1回充電してください。

4. 充電完了になったら、ドローンにバッテリーをセットします。



5. ドローンにメモリーカード(別売)を挿入します。



* FAT32フォーマットのメモリーカードを推奨します。



6. 送信機を充電します。

電源ON: 緑色 LED は常時点灯

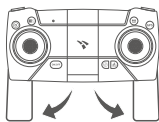
充電: 赤色 LED は常時点灯、緑色 LED は消灯

充電完了(フル充電): 緑色 LED は常時点灯、
赤色 LED は消灯

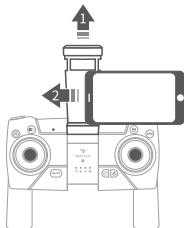
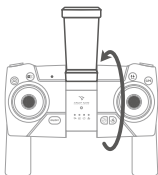
5V/0.5-2A



7. 「送信機ハンドル」を広げます。

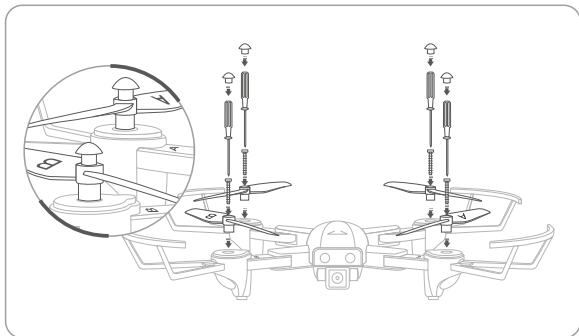


8. モバイル端末を使用してドローンを飛ばす場合は、「携帯電話ホルダー」を広げてください。



▶▶ 飛行準備

9. 必要に応じてプロペラを交換します(オプション)。



- ① プロペラのキャップを外します。
- ② ネジを緩めてプロペラの羽根を外します。
- ③ 予備のプロペラをドローンに取り付けます。プロペラ(A/B)のマークがドローンアームのマークと同じであることを確認してください。
- ④ ネジを締めてキャップを取り付けます。

▶▶ 飛行操作ガイド

i 重要:

- * 各フライト中に送信機の電源が入る前にドローンの電源が入っていることを確認してください。
- * ドローンまたは送信機を再起動するたびに、ペアリング手順を繰り返します。
- * すべての飛行機能とモードでは、操縦者とドローンの尾翼の位置が揃わなければなりません。
- * 初心者は広い場所の制御範囲内でドローンを飛ばすことをお勧めします。

* より良い飛行体験のために、送信機コントロールとアプリの両方を使用してドローンを飛行してください。

送信機操作ガイド

Mode 2の場合

ドローンと送信機のペアリング

ステップ1:

ドローンの電源を入れて水平面に置き、機首を前に向けます。ドローンのアームのLEDライトがゆっくりと点滅します。

ステップ2:

送信機の **ON/OFF** を押すと電源が入り、送信機のピープ音が鳴ります。ドローンのアームのLEDが急速に点滅なくなると、送信機がドローンと自動的にペアリングされたことを示します。

☀️ ご注意:

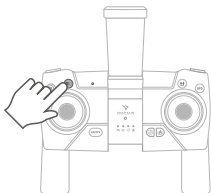
1. 送信機の **ON/OFF** ボタンを3秒間長押しすると、送信機の電源が切れます。
2. ドローンと送信機は15分以上操作しないと自動的に電源が切れます。

フライトキャリブレーション

1. コンパスキャリブレーション(本体のGPSに正しい方角を認識させること)

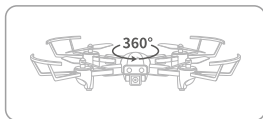
Q3 キーを3秒間押し続けて、キャリブレーションを開始します。送信機ピープ音が鳴り、ドローンのアームのLEDが消灯すると、ドローンがコンパス校正を開始する準備ができたことを示しています。

▶▶ 飛行操作ガイド



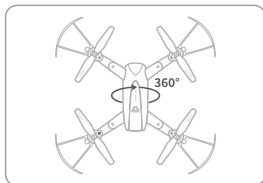
ステップ1:

ドローンを水平に持ち、ドローンのフロントアームのLEDが赤くなり、水平校正が成功するまで回転させます。



ステップ2:

ドローンを垂直に持ち、ドローンの後部アームのLEDが緑色に点灯し、垂直校正が成功するまでドローンを回転させます。

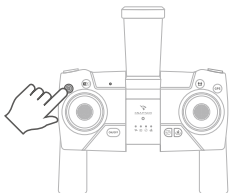


❗ ご注意:

- ① コンパスの校正後、ドローンアームのLEDランプが急速に点滅することになります。ドローンを水平面に置き、ジャイロコープの校正を行います。
- ② 校正の際には、磁性体やその他の電子機器に近づけないようにしてください。

2. ジャイロキャリブレーション

ドローンを水平面に置きます。送信機の **ⓧ** ボタンを3秒間長押ししてキャリブレーションを開始すると、送信機からビープ音が鳴ります。ドローンアームのLEDが急速に点滅なくなると、「ジャイロのキャリブレーション」が完了します。



GPS衛星の検索

コンパスとジャイロのキャリブレーション(校正)が終わったら、ドローンを水平面に置きます。「Snaptain Nova」アプリにアクセスしてGPS信号を確認し(詳細な手順は36~38ページを参照)、数分待ちます。GPS信号が3つ以上のバーを示し、ドローンの機首のLEDが常に点灯している場合は、ドローンが離陸するのに十分な衛星を探索したことになります。



ドローンはデフォルトでGPSモードに設定されています。このモードでは、ドローンは、GPSモジュールを使用して自分自身を見つけ、正確なホバーフライトを実行することができます。

GPSモードは、GPS信号が強い場合にのみ使用できます(信号が3つ以上のバー)。初めてお試しになる際には、屋外での飛行をお願いします。

! ご注意:

初心者の方には、GPSモードを強くお勧めします。

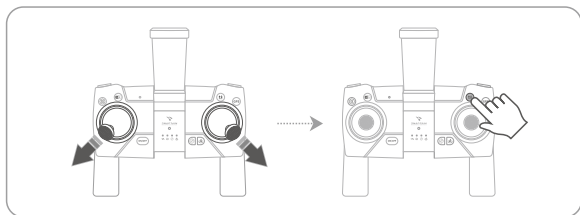
▶▶ 飛行操作ガイド

飛行指示

離陸

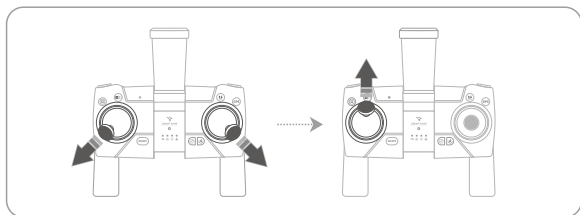
オプション1:

「左手スロットル」を左下に45度、「右手スロットル」を右下に45度同時に押し、4つのプロペラがすべて回転し始めたら、**Ⓢ** ボタンを短く押して離陸します。



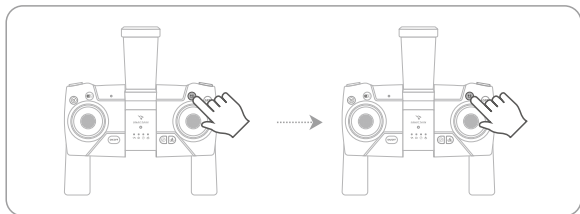
オプション2:

「左手スロットル」を左下に45度、「右手スロットル」を右下に45度同時に押し、4つのプロペラがすべて回転し始めたら、ゆっくりと「左手スロットル」を前方に押して離陸します。

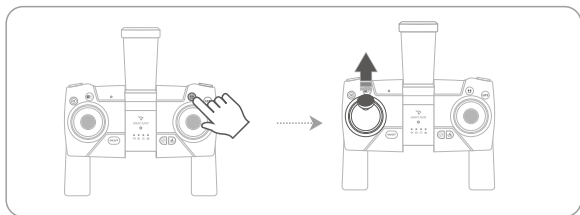


オプション3:

⏻ ボタンを押すと4つのプロペラが回転し始め、次に ⏻ ボタンを押して離陸します。

**オプション4:**

⏻ ボタンを押すと4つのプロペラが回転し始め、ゆっくりと「左手スロットル」を前方に押して離陸します。

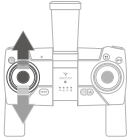
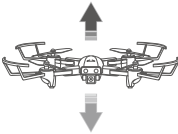
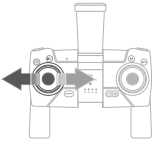



* アプリから「The compass was seriously interfered」と促され、GPSモードでの送信機操作で4つのプロペラが回らなくなったら、ドローンを別の場所に飛ばしてみましょう。

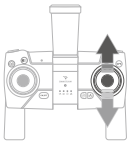
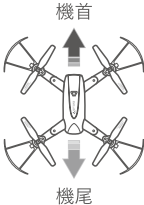
▶▶ 飛行操作ガイド

飛行方向

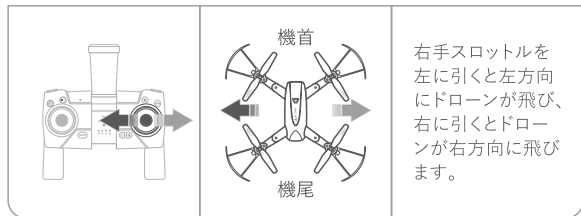
左手スロットル

		<p>左手スロットルを前方に押すとドローンが上昇し、引くとドローンが下降します。</p>
		<p>左手スロットルを左に引くとドローンが左に回転し、右に引くとドローンが右に回転します。</p>

右手スロットル

		<p>右手スロットルを前方に押すとドローンが前方に飛び、引くとドローンが後方に飛びます。</p>
---	---	--





リターンホーム (RTH)

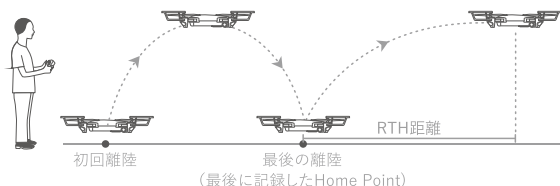
「リターンホーム (RTH)」機能により、ドローンは最後に記録されたHome Point (最後の離陸地点) に戻ることができます。リターンホーム機能は、GPS信号が3つ以上のバー表示され、コンパスが正常に動作している場合にのみ使用でき、そうでない場合は使用できません。

スマートRTH

送信機の  を押して「スマートRTH」を起動します。

* RTH距離

ドローンが最後に記録したHome Point (ドローンが最後に離陸した場所) との距離。

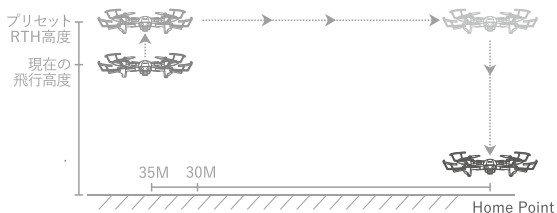


1. RTH距離 > 30m

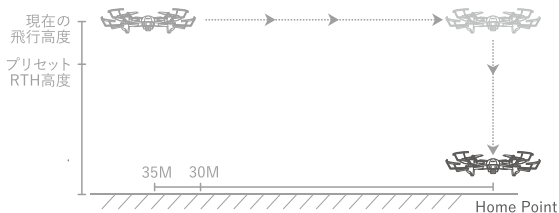
現在の飛行高度がプリセットされたRTH高度より低い場合、ドローンはまずプリセットされた帰還高度まで上昇した後、ホームポイントの上を真っ直ぐに戻って飛行し、着陸します。



▶▶ 飛行操作ガイド

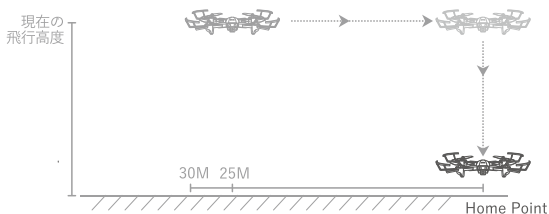


現在の飛行高度がプリセットRTH高度よりも高い場合、ドローンは現在の飛行高度でホームポイントの上空に直接戻って着陸します。



2. RTH距離 ≤ 30 m

ドローンは現在の飛行高度でHome Pointの上空を直接飛行して着陸します。



！ ご注意：

- ① デフォルトのRTH高度は25メートルです。「Snaptain Nova」アプリの設定内でリセットすることができます(40ページを参照)。リセットする際には、プリセットされたRTH高度が飛行高度を超えないように注意してください。
- ② 「スマートRTH」処理中は、送信機の「スマートRTH指示灯」が点滅したままになります。

フェールセーフRTH

送信機接続がドローンから4秒以上外れると、自動的に「フェールセーフRTH」が発生します。ドローンは、独自のフライトシステムの制御下で、最後に記録された「Home Point」に帰還します。

送信機をドローンに再接続すると、操縦者はRTHプロセスをキャンセルするためにドローンへの制御を取り戻すことができます。操縦者が操作をしていない場合は、ドローンは帰還を続けます。

！ ご注意：

- ① ドローンは「フェールセーフRTH」の帰還中に障害物を避けることができません。
- ② 送信機接続がドローンから外れて4秒以上経過し、GPS機能が利用できなくなった場合、ドローンは現在の高度から着陸するまでゆっくりと着陸します。
- ③ ドローンのLEDは、「フェールセーフRTH」の帰還中に急速に点滅します。

低電リターンRTH

1. ドローンのバッテリー残量が少なく、帰還距離が30mを超えると「低電リターンRTH」が作動します。



▶▶ 飛行操作ガイド



アプリ上のドローンのバッテリー状況は黄色の2つバーで表示されます。



ドローンのLEDライトがゆっくりと点滅します。

ドローンが20m以下のRTH距離まで飛んできた場合は、自動的にRTHがキャンセルされます。操縦者がどのように操作を行っても、ドローンは30mを超えて飛行はできません。

❗ ご注意:

低電リターンRTHをキャンセルした後は、バッテリーの消耗が激しくない限り、再び低電リターンRTHが発動することはありません

2. ドローンのバッテリーが著しく消耗した場合に、「**深刻な低電リターンRTH**」がトリガーされます。



アプリ上のドローンのバッテリーの状態を見ると、赤色の1つのバーが表示されます。



ドローンのLEDライトが素早く点滅します。

飛行操作ガイド


RTH距離が15mを超えると、ドローンは自動的に現在の高度で最後に記録されたホームポイントに戻ります。RTH距離が15m以内であれば、ドローンは直接下降して着陸します。着陸後、バッテリーを充電するか交換しない限り、ドローンは再び離陸しません。

！ ご注意:


バッテリーが少なくなったら、充電やバッテリー交換に間に合うようにドローンを着陸させます。

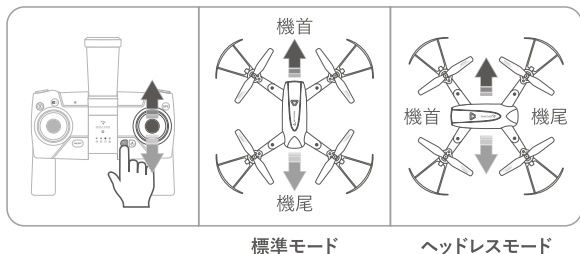
写真/ビデオ

 を短く押すと、写真が撮れます。

 を2秒間長押しして、ビデオ録画を開始します。もう一度2秒間長押しして録画を終了し、ビデオを保存します。「Snaptain Nova」アプリを使用すると、動画はモバイル端末とメモリーカードに保存されます。

ヘッドレスモード

 を短く押すと、「ヘッドレスモード」を開始します。このモードでは、ドローンの機首と機尾の向きに関係なく、「右手スロットル」の操作方向に合わせてドローンが飛行します。「ヘッドレスモード指示灯」が急速に点滅します。もう一度このボタンを押すと、このモードが解除されます。



標準モード

ヘッドレスモード

▶▶ 飛行操作ガイド

スピードスイッチ

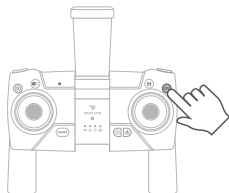
ドローンのデフォルトの速度は「**低速**」に設定されています。🔊 を1回押すと「**高速**」に切り替わり、送信機のピープ音が2回鳴ります。もう一度🔊 を押すと低速に戻り、送信機のピープ音が1回鳴ります。



高度維持

オプション1:

📶 ボタンを短く押すと「**高度維持**」が開始され、送信機が長めのピープ音を発します。



オプション2:

屋外で飛行する場合、ドローンがGPSモードを有効にするのに十分な衛星がない場合、高度維持が自動的にオンになります。

高度維持では、ドローンは特定の飛行高度を維持することができますが、風でドリフトします。

❗️ ご注意:

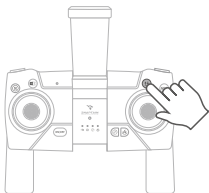
「**高度維持**」は、操縦者がドローンを上手に操作できるスキルを持っている場合にのみお勧めします。



着陸

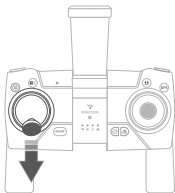
オプション1:

🔊 ボタンを短く押すとドローンを着陸させます。



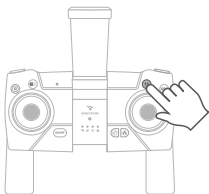
オプション2:

ゆっくりと「左手スロットル」を引いてドローンを着陸させる。



緊急停止

🔊 を4秒間長押しすると、ドローンが空中で止まって落下します。



》 飛行操作ガイド

! ご注意:

この機能は通常の飛行にはお勧めできません。ドローンに重大な損傷を与える可能性があります。

Mode 1の場合

ドローンと送信機のペアリング

ステップ1:

ドローンの電源を入れて水平面に置き、機首を前に向けます。ドローンのアームのLEDライトがゆっくりと点滅します。

ステップ2:

送信機の **GPS** ボタンを長押しして、**ON/OFF** を短く押して電源を入れ、送信機から2回連続でピープ音が聞こえたら **GPS** ボタンから指を離します。ピープ音が聞こえたら、送信機は正常にオンになっています。ドローンのアームのLEDが急速に点滅なくなると、送信機がドローンと自動的にペアリングされたことを示します。

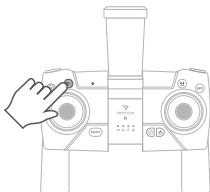
☀️ ご注意:

1. 送信機の **ON/OFF** ボタンを3秒間長押しすると、送信機の電源が切れます。
2. ドローンと送信機は15分以上操作しないと自動的に電源が切れます。

フライトキャリブレーション

1. コンパスキャリブレーション(本体のGPSに正しい方角を認識させること)

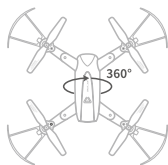
☑️ キーを3秒間押し続けて、キャリブレーションを開始します。送信機ピープ音が鳴り、ドローンのアームのLEDが消灯すると、ドローンがコンパス校正を開始する準備ができたことを示しています。

**ステップ1:**

ドローンを水平に持ち、ドローンのフロントアームのLEDが赤くなり、水平校正が成功するまで回転させます。


**ステップ2:**

ドローンを垂直に持ち、ドローンの後部アームのLEDが緑色に点灯し、垂直校正が成功するまでドローンを回転させます。

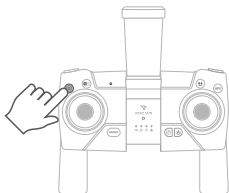
**! ご注意:**

- ① コンパスの校正後、ドローンアームのLEDランプが急速に点滅することになります。ドローンを水平面に置き、ジャイロコープの校正を行います。
- ② 校正の際には、磁性体やその他の電子機器に近づけないようにしてください。

2. ジャイロキャリブレーション

ドローンを水平面に置きます。送信機の  ボタンを3秒間長押ししてキャリブレーションを開始すると、送信機からピープ音が鳴ります。ドローンアームのLEDが急速に点滅なくなると、「ジャイロのキャリブレーション」が完了します。

▶▶ 飛行操作ガイド



GPS衛星の検索

コンパスとジャイロのキャリブレーション(校正)が終わったら、ドローンを水平面に置きます。「Snaptain Nova」アプリにアクセスしてGPS信号を確認し(詳細な手順は36~38ページを参照)、数分待ちます。GPS信号が3つ以上のバーを示し、ドローンの機首のLEDが常に点灯している場合は、ドローンが離陸するのに十分な衛星を探索したことになります。



ドローンはデフォルトでGPSモードに設定されています。このモードでは、ドローンは、GPSモジュールを使用して自分自身を見つけ、正確なホバーフライトを実行することができます。

GPSモードは、GPS信号が強い場合にのみ使用できます(信号が3つ以上のバー)。初めてお試しになる際には、屋外での飛行をお願いします。

❗ ご注意:

初心者の方には、GPSモードを強くお勧めします。

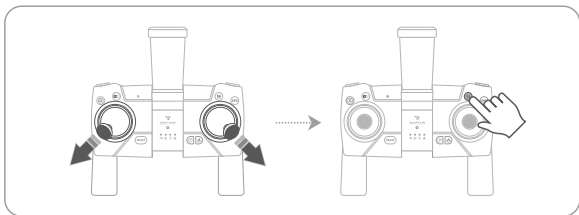


飛行指示

離陸

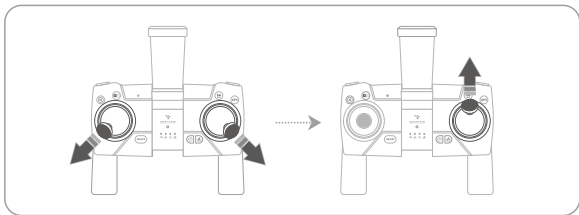
オプション1:

「左手スロットル」を左下に45度、「右手スロットル」を右下に45度同時に押し、4つのプロペラがすべて回転し始めたら、**⏏** ボタンを短く押して離陸します。



オプション2:

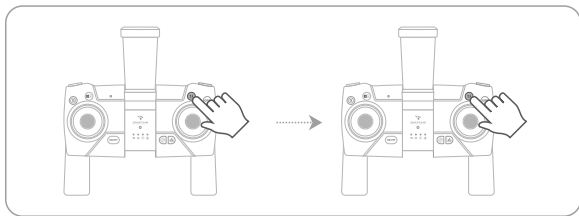
「左手スロットル」を左下に45度、「右手スロットル」を右下に45度同時に押し、4つのプロペラがすべて回転し始めたら、ゆっくりと「右手スロットル」を前方に押して離陸します。



▶▶ 飛行操作ガイド

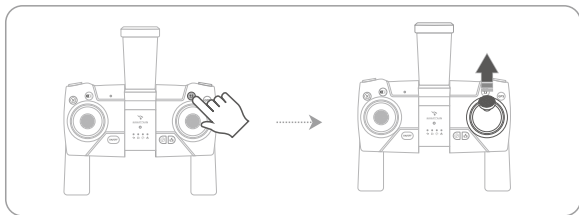
オプション3:

☰ ボタンを押すと4つのプロペラが回転し始め、次に ☰ ボタンを押して離陸します。



オプション4:

☰ ボタンを押すと4つのプロペラが回転し始め、ゆっくりと「右手スロットル」を前方に押して離陸します。

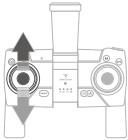
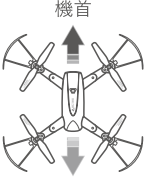
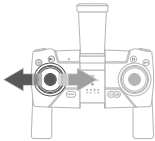



* アプリから「The compass was seriously interfered」と促され、GPSモードでの送信機操作で4つのプロペラが回らなくなったら、ドローンを別の場所に飛ばしてみましょう。

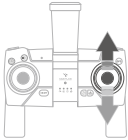
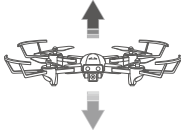


飛行方向

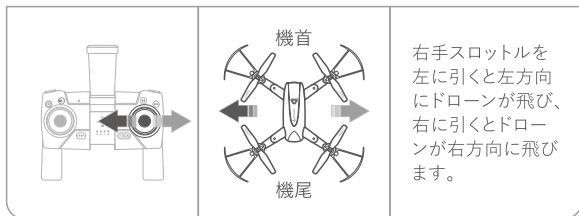
左手スロットル

		<p>左手スロットルを前方に押すとドローンが前方に飛び、引くとドローンが後方に飛びます。</p>
		<p>左手スロットルを左に引くとドローンが左に回転し、右に引くとドローンが右に回転します。</p>

右手スロットル

		<p>右手スロットルを前方に押すとドローンが上昇し、引くとドローンが下降します。</p>
---	---	--

▶▶ 飛行操作ガイド



リターンホーム (RTH)

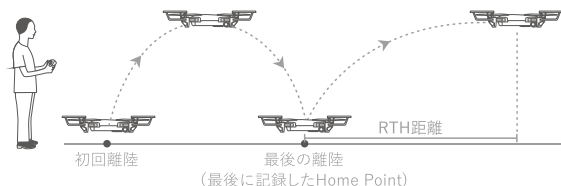
「リターンホーム (RTH)」機能により、ドローンは最後に記録されたHome Point (最後の離陸地点) に戻ることができます。リターンホーム機能は、GPS信号が3つ以上のバー表示され、コンパスが正常に動作している場合にのみ使用でき、そうでない場合は使用できません。

スマートRTH

送信機の  を押して「スマートRTH」を起動します。

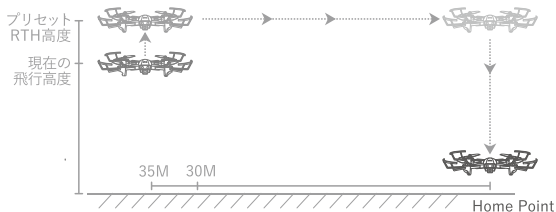
* RTH距離

ドローンが最後に記録したHome Point (ドローンが最後に離陸した場所) との距離。

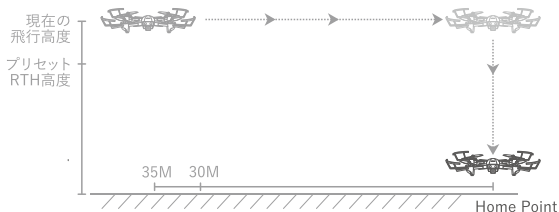


1. RTH距離 > 30m

現在の飛行高度がプリセットされたRTH高度より低い場合、ドローンはまずプリセットされた帰還高度まで上昇した後、ホームポイントの上を真っ直ぐに戻って飛行し、着陸します。

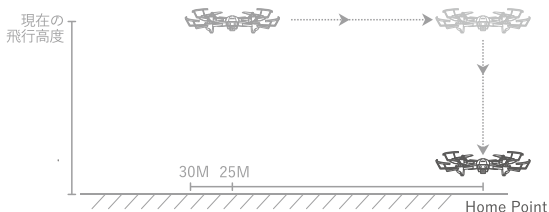


現在の飛行高度がプリセットRTH高度よりも高い場合、ドローンは現在の飛行高度でホームポイントの上空に直接戻って着陸します。



2. RTH距離 \leq 30 m

ドローンは現在の飛行高度でHome Pointの上空を直接飛行して着陸します。



》 飛行操作ガイド

！ ご注意：

- ① デフォルトのRTH高度は25メートルです。「Snaptain Nova」アプリの設定内でリセットすることができます(40ページを参照)。リセットする際には、プリセットされたRTH高度が飛行高度を超えないように注意してください。
- ② 「スマートRTH」処理中は、送信機の「スマートRTH指示灯」が点滅したままになります。

フェールセーフRTH

送信機接続がドローンから4秒以上外れると、自動的に「フェールセーフRTH」が発生します。ドローンは、独自のフライトシステムの制御下で、最後に記録された「Home Point」に帰還します。

送信機をドローンに再接続すると、操縦者はRTHプロセスをキャンセルするためにドローンへの制御を取り戻すことができます。操縦者が操作をしていない場合は、ドローンは帰還を続けます。

！ ご注意：

- ① ドローンは「フェールセーフRTH」の帰還中に障害物を避けることができません。
- ② 送信機接続がドローンから外れて4秒以上経過し、GPS機能が利用できなくなった場合、ドローンは現在の高度から着陸するまでゆっくりと着陸します。
- ③ ドローンのLEDは、「フェールセーフRTH」の帰還中に急速に点滅します。

低電リターンRTH

1. ドローンのバッテリー残量が少なく、帰還距離が30mを超えると「低電リターンRTH」が作動します。



アプリ上のドローンのバッテリー状況は黄色の2つバーで表示されます。



ドローンのLEDライトがゆっくりと点滅します。

ドローンが20m以下のRTH距離まで飛んできた場合は、自動的にRTHがキャンセルされます。操縦者どのように操作を行っても、ドローンは30mを超えて飛行はできません。

! ご注意:

低電リターンRTHをキャンセルした後は、バッテリーの消耗が激しくない限り、再び低電リターンRTHが発動することはありません

2. ドローンのバッテリーが著しく消耗した場合に、「**深刻な低電リターンRTH**」がトリガーされます。



アプリ上のドローンのバッテリーの状態を見ると、赤色の1つのバーが表示されます。



ドローンのLEDライトが素早く点滅します。


▶▶ 飛行操作ガイド


RTH距離が15mを超えると、ドローンは自動的に現在の高度で最後に記録されたホームポイントに戻ります。RTH距離が15m以内であれば、ドローンは直接下降して着陸します。着陸後、バッテリーを充電するか交換しない限り、ドローンは再び離陸しません。

❗ ご注意:


バッテリーが少なくなったら、充電やバッテリー交換に間に合うようにドローンを着陸させます。

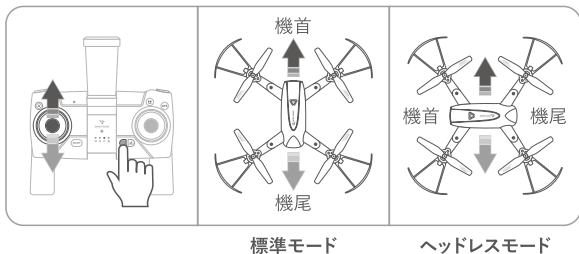
写真/ビデオ

 を短く押すと、写真が撮れます。

 を2秒間長押しして、ビデオ録画を開始します。もう一度2秒間長押しして録画を終了し、ビデオを保存します。「Snaptain Nova」アプリを使用すると、動画はモバイル端末とメモリーカードに保存されます。

ヘッドレスモード

 を短く押すと、「ヘッドレスモード」を開始します。このモードでは、ドローンの機首と機尾の向きに関係なく、「左手スロットル」によって前/後方に、若しくは「右手スロットル」によって左/右方向に飛行します。「ヘッドレスモード指示灯」が急速に点滅します。もう一度このボタンを押すと、このモードが解除されます。



スピードスイッチ

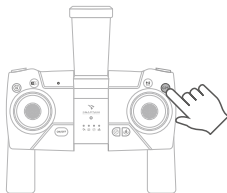
ドローンのデフォルトの速度は「**低速**」に設定されています。🔊 を1回押すと「**高速**」に切り替わり、送信機のピープ音が2回鳴ります。もう一度🔊 を押すと低速に戻り、送信機のピープ音が1回鳴ります。



高度維持

オプション1:

📍 ボタンを短く押すと「**高度維持**」が開始され、送信機が長めのピープ音を発します。



オプション2:

屋外で飛行する場合、ドローンがGPSモードを有効にするのに十分な衛星がない場合、高度維持が自動的にオンになります。

高度維持では、ドローンは特定の飛行高度を維持することができますが、風でドリフトします。

! ご注意:

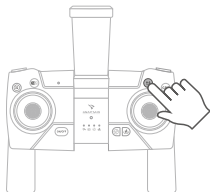
「**高度維持**」は、操縦者がドローンを上手に操作できるスキルを持っている場合にのみお勧めします。

▶▶ 飛行操作ガイド

着陸

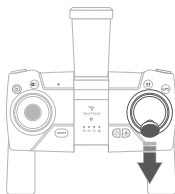
オプション1:

🔑 ボタンを短く押すとドローンを着陸させます。



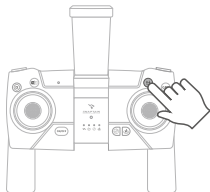
オプション2:

ゆっくりと「右手スロットル」を引いてドローンを着陸させる。



緊急停止

🔑 を4秒間長押しすると、ドローンが空中で止まって落下します。



！ ご注意：

この機能は通常の飛行にはお勧めできません。ドローンに重大な損傷を与える可能性があります。

APP操作ガイド

APPのダウンロードとインストール

「Snaptain Nova」を「App Store™」または「Google Play™」からモバイル端末にダウンロードしてインストールするか、以下のQRコードをスキャンしてください。



Android 4.6 以降



iOS 8.0 以降

ご注意：

Google Play™はGoogle Inc.の商標であり、App Store™はApp Inc.の商標である。

APPを起動

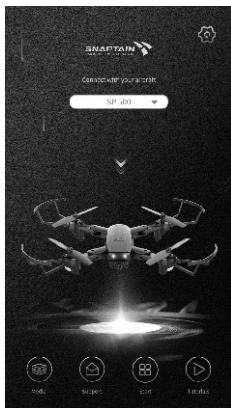
ステップ1：

モバイル端末の設定に進み、Wifi「SNAPTAIN-SP500-xxxxxx」に接続します。

ステップ2：

「Snaptain Nova」アプリを開き、「Start」をタップして移動します。

▶▶ 飛行操作ガイド



! ご注意:

- ① WifiのリストにWifi「**SNAPTAIN-SP500-xxxxxx**」がない場合や、アプリにプレビュー画像が表示されない場合は、ドローンと送信機を再起動してから、**10~12**(Mode 2の場合)または**23~25**(Mode 1の場合)の指示に従ってペアリングとキャリブレーションを繰り返してください。
- ② Wifi「**SNAPTAIN-SP500-xxxxxx**」が1台のモバイル端末のみに接続されていることを確認してください。
- ③ ライブマップが表示されない場合は、ドローンのWifiを切断し、モバイル端末のデータ通信と位置情報サービスをオンにして、マップをプリロードします。次に、データ通信をオフにして、ドローンのWifiに再接続し、アプリを起動します。
- ④ ドローンのWifiにはインターネット接続がありません。ドローンのWifiに接続するときにデータ通信をオフにすることをお勧めします。そうしない場合、モバイルデバイスが自動的にデータ通信に切り替わってしまい、ドローンのWifiから切断される可能性があります。



アプリの機能概要



- | | |
|---------------------|---------------|
| ① 戻る | ⑥ 反転画像 |
| ② メディアライブラリ | ⑦ 飛行記録 |
| ③ VRモード | ⑧ 設定 |
| ④ さらに | ⑨ GPS信号 |
| ⑤ ウェイポイント(waypoint) | ⑩ Wifi信号 |
| ① スマートRTH | ① ドローンバッテリー状態 |
| ② 目標点のサークルフライ(POI) | ② 送信機バッテリー状態 |
| ③ フォロミー | ③ ライブマップ |
| ④ ワンキー離陸/着陸 | ④ アンロック |
| ⑤ 写真/ビデオ用ジェスチャー | ⑤ D:飛行距離 |
| ⑥ 写真 | ⑥ H:飛行高度 |
| ⑦ ビデオ | ⑦ DS:飛行速度 |
| ⑧ 音楽 | ⑧ VS:上昇/下降速度 |

》 飛行操作ガイド

ご注意:

 をタップすると、画面上のアイコンを非表示や表示にします。

メディアライブラリ:

タップすると保存されている写真や動画を見ることができます。

VRモード:

 をタップするとVRモードを有効にします(VR端末は提供しません)。

GPS信号:

GPS衛星の信号を表示します。GPS機能は、3つのバーで信号を表示している場合に使用できます。

反転画像:

 をタップすると画像が180度反転します。

飛行記録:

すべての飛行記録はここで見るすることができます。

Wifi信号:

ドローンの制御を失わないように、Wifiの信号強度を確認してください。信号が弱くなったら、すぐにドローンに戻るよう、飛ばしてください。

ドローンバッテリー状態:

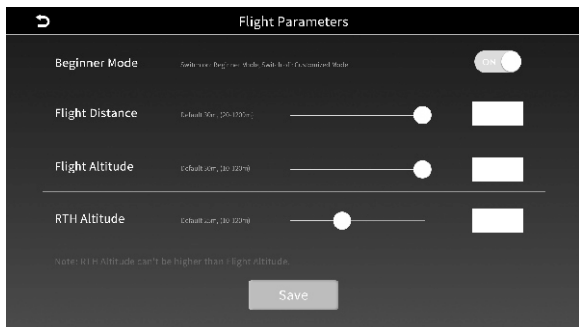
ドローンのバッテリーの状態を確認してください。

送信機バッテリー状態:

送信機のバッテリーの状態を確認してください。

設定

⚙️ をタップして、ドローンを設定してください。



必要に応じて、「飛行距離」、「飛行高度」、「RTH高度」をリセットすることができます。

Beginner Mode:

初心者モードはデフォルトでOnになっており、すべてのフライトパラメーターがプリセットされています。初心者の方にはビギナーモードがおすすめです。

Flight Distance:

タップすると、ドローンと最後に記録したHome Point間の最大飛行距離をリセットします。

Flight Altitude:

タップすると、ドローンの最大飛行高度をリセットします。

RTH Altitude:

タップすると、ドローンのRTH高度をリセットします。

》 飛行操作ガイド

！ ご注意:



RTH高度は、飛行高度を超えることはできません。

i 重要:

- 1 離陸前にGPS信号のバーが3つ以上表示されていることを確認してください。
- 2 デフォルトの飛行距離は30メートルです。「Snaptain Nova」アプリの設定内でリセットすることができます。

離陸

ステップ1:


ドローンのロックを解除するために  >  をタップし、4つのプロペラが回転を開始します。

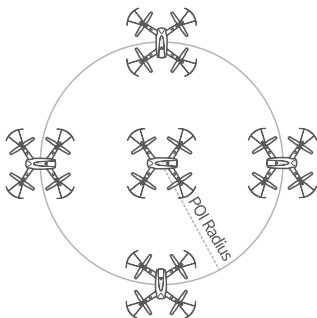
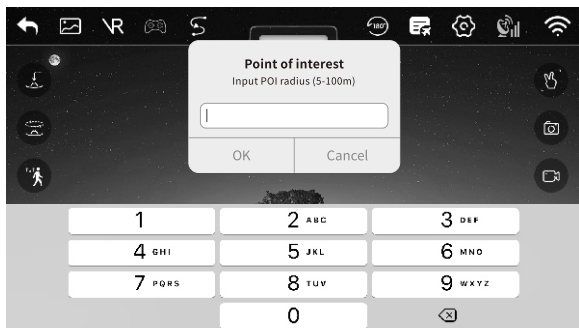
ステップ2:


 をタップし、ポップアップウィンドウで「Yes」をタップで離陸します。



目標点のサークルフライ (POI)

飛行中、 をタップしてPOIサラウンドを有効にし、サラウンド半径を入力し、「OK」をタップしてサラウンドを開始します。ドローンは現在の位置を中心にして、周径を飛行し始めます。



飛行中にもう一度  をタップすると、このモードがキャンセルされ、ドローンへの操作を取り戻すことができます。

! ご注意:

この機能は、ドローンのバッテリーが低下している場合(ドローンバッテリー状態が黄色の2つのバーで表示され、ドローンのLEDがゆっくりと点滅します)には使用できません。



▶▶ 飛行操作ガイド

フォローミー

🚶 をタップして「フォローミー」を有効にし、ポップアップウィンドウで「Yes」をタップして起動します。飛行中に「フォローミー」を有効にすると、ドローンのカメラレンズがモバイル端末に向けられ、一定の距離を保つようになります。



このモードをキャンセルし、ドローンへの操作を取り戻すためには、飛行中に 🚶 を再度タップします。

! ご注意:

- 1 「フォローミー」の機能は、GPS信号の影響で偏っている場合があります。この機能が有効になっている場合は、ドローンから安全な距離を保ってください。
- 2 この機能は、事故防止のために周囲に障害物がない場合にのみ有効になります。
- 3 この機能は、ドローンのバッテリーが少ない(ドローンのバッテリーステータスが黄色の2つのバーで、LEDがゆっくりと点滅している。)場合、有効にできません。



ウェイポイント

飛行では、「ウェイポイント」機能により、地図上のドローンの正確な飛行経路を設定することができます。

ステップ1:

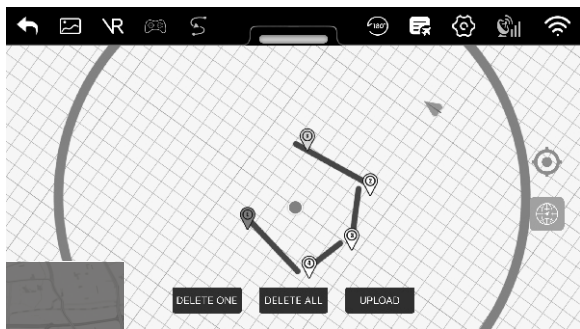
S をタップして、地図上のいくつかのウェイポイントをタップします。リセットしたい場合は、**DELETE ONE** か **DELETE ALL** をタップしてウェイポイントを削除します。

ステップ2:

UPLOAD をタップしてウェイポイントをアップロードします。

ステップ3:

ポップアップウィンドウで「Yes」をタップして開始します。




飛行中に **S** をもう一度タップするとこのモードをキャンセルし、ドローンを操作できるようになります。



! ご注意:

この機能は、ドローンのバッテリーが少ない(ドローンのバッテリーステータスが黄色の2つのバーで、LEDがゆっくりと点滅している。)場合、有効にできません。




▶▶ 飛行操作ガイド

写真/ビデオ

 をタップすると写真が撮れます。


 をタップしてビデオの録画を開始し、終了するにはもう一度  をタップして、メモリカードとモバイル端末にビデオを保存します。

ジェスチャー写真/ビデオ:

 をタップして、この機能を有効にします。3m以内の明るい環境で、右手で  ジェスチャーを作ると撮影します。 ジェスチャーで撮影を開始して終了します。

プリロードされた音楽で動画を録画


ステップ1:

 >「Click to select music」をタップすると、使用可能な音楽が表示されます。

ステップ2:

お気に入りのBGMをタップして選択を確認し、ポップアップウィンドウでOKをタップしてビデオの録画を開始します。録画終了後、「メディアライブラリ」に保存されます。

ステップ3:

「メディアライブラリ」で、選択したビデオの右上隅にある  をタップして、ビデオをお友達と共有します。

着陸

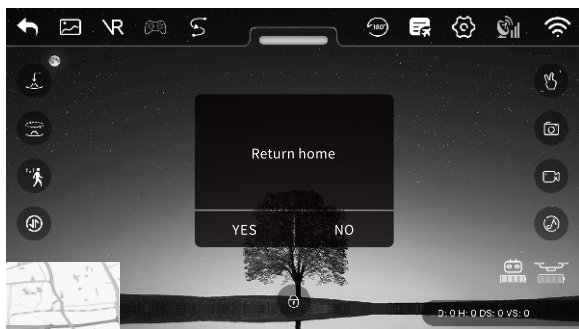
飛行中は、 をタップしてドローンを着陸させます。



スマートRTH

飛行中に、 をタップして「スマートRTH」を有効にし、最後に記録された「Home Point」にドローンを戻すようにします。ポップアップウィンド

飛行操作ガイド

ウの「Yes」をタップすると、スマートRTHを開始します。「No」をアップすると、画面から退出します。



RTH中にもう一度  をタップするか、送信機の  ボタンをタップして、RTHをキャンセルします。

LED指示灯の説明

ドローン頭部のLEDランプ

LEDランプ	ドローンステータス
消灯	GPSモードがオフ
点滅	衛星を検索中
長く点灯	衛星が見つかった。GPSモードが利用可能。

LED指示灯の説明

機能	フロントLED	リアーLED
色	赤色	緑色
電源オン	ゆっくりと点滅	
ペアリング	素早く点滅	
コンパスキャリブレーション	校正開始:点灯なし 水平校正完了:点灯 垂直校正完了:点灯	校正開始:点灯なし 水平校正完了:点灯なし 垂直校正完了:点灯
ジャイロキャリブレーション	校正開始:4秒間素早く点滅 校正完了:呼吸	
フェイルセーフRTH	ゆっくりと点滅	
ローバッテリー状態	ローバッテリー:ゆっくりと点滅 深刻なローバッテリー:素早く点滅	

トラブルシューティング

Q1. ドローンのモーターが回転しません。

- * ドローンと送信機の電源が入っていることを確認してください。
- * ドローンのバッテリーと送信機のバッテリーに十分な電力があることを確認してください。
- * ドローンと送信機が正常にペアリングされていることを確認してください。

トラブルシューティング

Q2. ドローンの LED が異常に点滅します。

- * ドローンのバッテリーに十分な電力があることを確認してください。
- * コンパスの校正を試みてください。
- * ジャイロの校正を試みてください。

Q3. モーターのロックを解除するとプロペラが回転し始めますが、離陸できません。

- * ドローンのバッテリーの残量を確認してください。
- * モーターのロックを解除した後、「**左手スロットル**」(Mode 2の場合) または「**右手スロットル**」(Mode 1の場合)を前方に押し離陸してください。
- * プロペラ(A/B)が正しく取り付けられているか確認してください。
- * 各モーターの回転速度が同じか確認してください。各モーターの回転数が同じかどうか確認してください。

Q4. 離陸後、ドローンが片側に傾きます。

- * ジャイロを調整してください。
- * プロペラ(A/B)が正しく取り付けられているか確認してください。
- * モーターに小さな物が付着していないか、または、なにかモーターから異臭(焦げ臭い匂いなど)がしないか確認してください。小さな物が付着している場合は、取り除くか、弊社まで直接ご連絡ください。
- * モーターのホイールが正常に動作しているか確認してください。正常に動作していない場合は、直接弊社にご連絡ください。

Q5. ドローンのプロペラが回転しません。

- * プロペラを締め付けすぎていませんか？
- * モーターに小さな物が引っかかっているか、モーターから異臭(焦げ臭い匂いなど)がしていないか確認してください。小さな物が付着している場合は、取り除くか、弊社まで直接ご連絡ください。
- * モーターのホイールが正常に動作しているか確認してください。正常に動作していない場合は、直接弊社にご連絡ください。



》トラブルシューティング

Q6. 離陸後、ドローンがドリフトします。

- * 「GPSモード」が「ON」になっていて、GPS信号が強いことを確認してください。
- * ドローンを着陸させ、ジャイロの校正を行ってください。
- * ドローンを着陸させ、コンパスの校正を行ってください。

Q7. ドローンが送信機の操作に反応しない、または反応が鈍いです。

- * ドローンが制御範囲内を飛行していることを確認してください。
- * ドローンの速度を中速または高速に切り替えてください。
- * 送信機バッテリーに十分な電力があることを確認してください。

Q8. アプリでライブ映像が見れない。

- * ドローンに十分な電力があることを確認してください。
- * モバイル端末がドローンのWifiに接続されていることを確認してください。
- * モバイル端末の設定でモバイル端末のデータ通信をオフにするか、「インターネットに接続されていない状態で、携帯電話が自動的にWifiに接続されないようにする」機能を無効にしてください。
- * カメラがブロックされていないことを確認してください。
- * ドローンがFPVの範囲内で飛行していることを確認してください。
- * アプリ起動時に「SP500」が選択されていることを確認してください。
- * ドローンのWifiに接続するために別の携帯電話を使用してみてください。

ドローン

動作温度	32° F to 104° F (0°C to 40°C)
------	-------------------------------

動作周波数	モデル SP500: 2.412GHz~2.462GHz
-------	---------------------------------

送信電力(EIRP)	モデル SP500: 2.4GHz<14dBm
------------	----------------------------

送信機

動作周波数	モデル SP500: 2.412GHz~2.484GHz
-------	---------------------------------

送信電力(EIRP)	モデル SP500: 2.4GHz<18dBm
------------	----------------------------

USBケーブル

	送信機用	ドローンバッテリー用
--	------	------------

入力	5V $\overline{=}$ 0.5-2A	5V $\overline{=}$ 1-2A
----	--------------------------	------------------------

出力	3.7V $\overline{=}$ 600mA	7.4V $\overline{=}$ 800mA
----	---------------------------	---------------------------

定格出力	2.22W	5.92W
------	-------	-------

SNAPTAIN SUPPORT

JP support.jp@snaptain.com



www.snaptain.com



[@snaptainofficial](https://www.facebook.com/snaptainofficial)



[@snaptain_official](https://www.instagram.com/snaptain_official)